

NEXT
55



みんなの力で、みんなの幸せを
SAWARABI

さわらび

- 1 **表紙** 小音楽会～福祉村保育園～
- 2 **医学
講話** COVID-19の皮膚症状とCOVID-19ワクチンによる皮膚症状
◆日本皮膚科学会認定皮膚科専門医／認知症サポート医
日本医師会認定産業医／日本医師会認定健康スポーツ医
日本障がい者スポーツ協会公認障がい者スポーツ医 齊藤 友紀子
- 6 **特集** 珠藻荘でのリハビリの評価～障害者支援施設 珠藻荘～

2022
vol.594

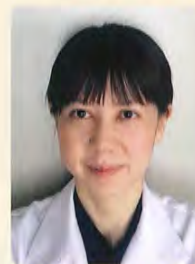
10



医学講話

日本皮膚科学会認定皮膚科専門医／認知症サポート医
日本医師会認定産業医／日本医師会認定健康スポーツ医
日本障がい者スポーツ協会公認障がい者スポーツ医

齊藤 友紀子



COVID-19の皮膚症状と COVID-19ワクチンによる皮膚症状

はじめに

COVID-19(新型コロナウイルス感染症)では様々な皮膚症状が見られることが報告されています。そのメカニズム解析も少しずつ進んでいます。また、COVID-19ワクチン接種後にも様々な皮膚副反応が生じることが知られています。COVID-19の皮膚症状とCOVID-19ワクチンによる皮膚症状について紹介します。

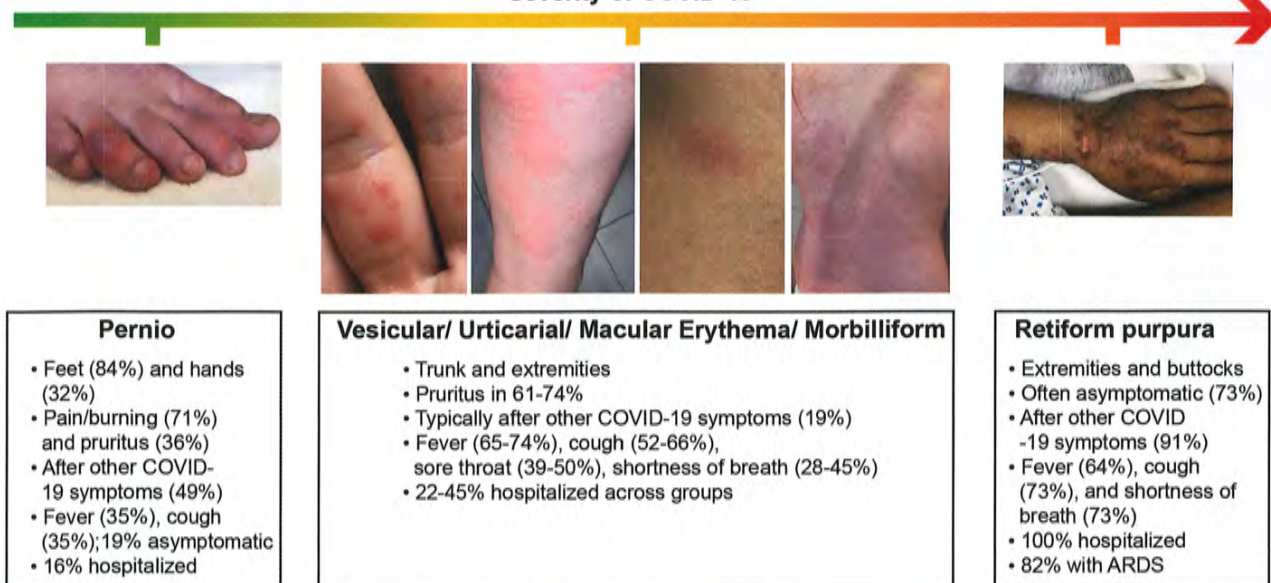
COVID-19の皮膚症状

COVID-19(新型コロナウイルス感染症)に罹患した患者のうち0.2〜20%に皮膚症状を呈すると言われています。アジアでは欧米と比較してCOVID-19の皮膚症状の出現頻度は低く、日本人では皮膚症状の出現頻度は2%ほどと言われています。皮膚症状のパターンは大きく分けて凍瘡様皮疹、水疱、蕁麻疹、

疹、紅斑丘疹、紫斑、網状皮斑の6つあり、COVID-19の重症度によって出現する皮疹が異なってくる。と報告されています。凍瘡様皮疹は若年成人で軽症者に多く、紫斑や網状皮斑は中等症以上で多く見られます。またアジアでは欧米と比較して凍瘡様皮疹や水疱の割合が少ないようです。日本人のCOVID-19の皮疹のパターンは、紅斑丘疹が82%と大半を占め、蕁麻疹が9%、凍瘡様皮疹が6%、網状皮斑やその他は少数との報告があります(※1)。紅斑丘疹といえば、COVID-19に限らず他のウイルス感染症においてもよく見られる皮疹ですので、COVID-19に特異的な皮疹とは言いにくいかもしれません。

それぞれの皮疹の説明をしていきます。COVID-19の重症度が軽症患者→重症患者となるにつれて、凍瘡様皮疹→水疱→蕁麻疹、紅斑丘疹→紫斑、網状皮斑の出現頻度になると言われています。(図1)

Severity of COVID-19*



(図1) COVID-19重症度別の皮疹

(J Am Acad Dermatol.2020 Oct)

【凍瘡様皮疹(コピッドトウ)】足趾にできるいわゆる「しもやけ」のような皮疹です。英語ではCOVID toe(コロナの足趾)と言われています。足趾のしもやけと似た皮疹ですが、しもやけと違って冷感やチアノーゼの症状が少ないのが特徴です。COVID-19の軽症者に生じることで知られていて、欧米のデータではPCR陰性のことも多いとのこと。発症メカニズムとしては、軽症や中等症でのCOVID-19における、自然免疫であるI型インターフェロンの活性化によりT細胞や単球由来の樹状細胞が浸潤します。

【水疱】海外の報告では、漿液性丘疹のような小型の水疱ができます。

【蕁麻疹、紅斑丘疹】他のウイルス感染症でも見られるような、全身に広がる赤い皮疹です。中等症の患者で多くみられます。

【紫斑】皮内出血による紫色の斑を紫斑といいますが、COVID-19による紫斑は血管炎によるものと言われています。メカニズムは、獲得免疫によって免疫複合体が形成され白血球破砕性血管炎が生じます。

【網状皮斑(livedo)】網状皮斑とは大きな網目状の紅色調の斑のことで、四肢に出現しやすいです。COVID-19では重症型に見られて、重症型が高齢者に多い

こともあり網状皮斑も高齢者に多いと言われています。その本体は血栓性血管障害であり、COVID-19が血管内皮細胞感染し、IL-6などのサイトカインによりフィブリノーゲンが上昇し微小血栓を形成すると言われています。

COVID-19によるいわゆる後遺症(post acute COVID-19 syndrome)についても触れておきます。COVID-19罹患後に生じる倦怠感、頭痛等の後遺症が報告されている中で、皮膚症状としては脱毛の報告があります。これはCOVID-19罹患後平均1〜2ヶ月後くらいから脱毛症が出現するもので、COVID-19患者の約20%に生じると言われています。基本的には休止期脱毛であるため可逆的です。特に治療をしなくても数ヶ月〜1年後くらいには自然に回復することが多いと言われています。

COVID-19ワクチンによる皮膚症状

COVID-19ワクチンとして日本ではmRNAワクチン(ファイザー、モデルナ)とウイルスベクターワクチン(アストラゼネカ)の接種が行われてきました。COVID-19ワクチン接種後の様々な皮膚副反

応が報告されています。最も多いのは注射部位の紅斑、腫脹、疼痛といった局所注射部位反応で、続いて凍瘡、蕁麻疹、多形紅斑、麻疹様疹、接触皮膚炎様疹、ジベルばら色靴擦疹、紫斑、水痘帯状疱疹ウイルスの再活性化など多様な皮疹が報告されています。

注射部位の紅斑、腫脹などの局所反応はCOVID arm(日本ではモデルナアーム)と呼ばれています(図2)。出現頻度は5〜6%で、女性に多く生じると報告されています(※2)。皮疹の病理ではリンパ球浸潤が見られ、ワクチンにより活性化されたリンパ球による遅発性のアレ



(図2) COVID arm(モデルナアーム) <N Engl J Med.2021 Mar 3>

ルギーと考えられています。多くは対症療法で改善しています。

その他の多彩な皮膚副反応が報告されていますが、どれもCOVID-19感染による皮膚症状と比較的よく似た皮疹を呈しているようにもみえます。ワクチン接種後に皮膚副反応が起こる機序は不明なことが多く、自然免疫と獲得免疫、さらには個々の免疫反応の強弱などが複雑に相互作用しながら皮疹が形成されると考えられています。

おわりに

2019年末から始まったCOVID-19(新型コロナウイルス感染症)は世界中に蔓延し重大なパンデミックを引き起こしました。COVID-19の皮疹は、ほとんどが全身症状(咳や感冒症状)と同様かその後に出現しますが、1割程度に皮疹が先行することがあると言われています。日本におけるCOVID-19の皮膚症状の出現頻度は低いですが、可能性を念頭に置き皮疹から早期にCOVID-19を疑う必要性もあると思われる、皮膚科医の果たす役割があると考えています。

(※1)大阪府の市立豊中病院の報告より。
(※2)2021年8月28日 自衛隊中央病院の発表より。

研究通信

news of study

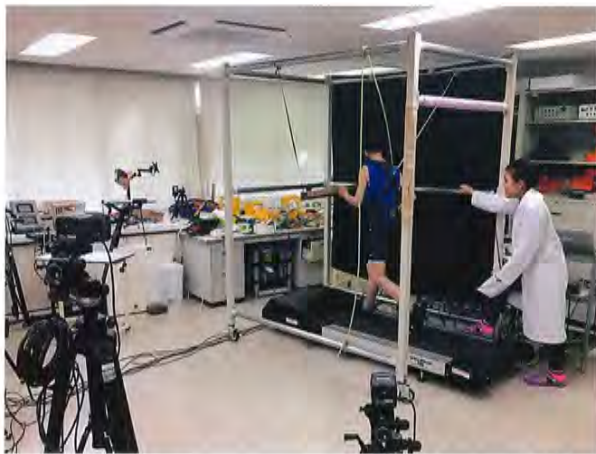
Vol. 174

名古屋市立大学大学院医学研究科地域医療
教育学教授(診療担当)／名古屋市大病院
地域包括ケア推進研究センターセンター長

赤津 裕康

地域高齢者における身体的 フレイルへの影響因子の検討

以前にも話題提供させていただき
ました名古屋市緑区鳴子町で名市大
コミュニティヘルスケア教育研究セ
ンターでの地域高齢者に対する活動
において、今回は中京大学(渡邊航
平教授)と行った研究成果を報告さ
せていただきます。60名近くの方に
声掛けし、自分の体力に合ったアン
クルウエイト(足首に装着する荷重
器具：右下図)を3か月間、最低週2
回、1回30分程度装着し室外歩行し
ていただきました。



この方々の中で30名程度の方に歩
行状態をモーションキャプチャー法
(体に特殊なセンサーを装着しカメ
ラで体の動きを捉える手法：左写真)
で歩行状態の解析をさせていただき
ました。

写真の様にトレッドミル上で90秒
間普通に歩いていただくのですが、
アンクルウエイトを装着せず歩行し
ていただいた後、アンクルウエイト
を装着して歩行していただきました
た。



います。しかし、逆にこのような動作
を無理のない範囲で毎日繰り返せ
ば、左図の赤い足の様に下腿をより
持ち上げる動作が負荷をかけた状
態で日々行われる事となり、しっか
りした下肢の筋肉がつく事が期待
されます。



アンクルウエイトは装着のご経験
がある方はご理解いただけれると思う
のですが、それなりの重さを装着す
ると足が引きずられる感じになり、
ちよつと危険です。このため高齢者
が不用意に装着・使用することは勧
められません。

しかし、今回の測定では意外にも
アンクルウエイトを装着すると股関
節がより屈曲され下腿を高く持ち上
げるような動作がなされることが分
かりました。

勿論、これは短時間ですので疲れ
て来ればそうはいかなくなると思

適切な重さで、適切な時間、アンク
ルウエイトを装着して歩行すれば、
長期的には安定した下肢の力を得る
事ができ、高齢者の転倒予防、フレイ
ル予防に貢献できる可能性があります。
現在、適切なセンサーと組み合わせ、
スマートフォンアプリケーションシヨ
ンなども連動した機器開発を目指
して企業や中京大などと協力して研
究を進めています。

2号技能実習生が専門級試験に合格しました

福祉村病院介護医療院4名、特別養護老人ホーム第二さわらび荘4名の計8名の技能実習生が7月19日に介護技能実習評価試験(専門級)の学科試験と実技試験を受験し、全員が合格しました。学科と実技の合格者は、在留資格「特定技能」へ無試験で変更することが可能になります。

福祉村病院介護医療院



ズオン ティ ニュット クエ



ズオン ヴァン パン



ズオン ティ ピック ヒエン



ルオン ティ オアン

第二さわらび荘



タ ティ フエン



グエン ティ ハン



ヴー ティ ラン アイン



グエン ティ クイン

技能実習生 専門級試験とは

専門級試験とは、第2号技能実習生が技能実習修了時に、技能が適切に移転されているか確認するため受験する試験です。到達レベルは「自ら、介護業務の基盤となる能力や考え方などに基づき、利用者様の心身の状況に応じた介護を一定程度できるレベル」となることから、初級試験と異なり、技能実習指導員の指示のもと行う介護ではなく、自ら考え行う介護を評価することになります。

(一般社団法人シルバーサービス振興会「介護技能実習評価試験」～【専門級試験】の受験にあたって～より抜粋)

特集

珠藻荘でのリハビリの評価 〜障害者支援施設 珠藻荘〜

リハビリの目的

施設で生活している人たちの障がい
は幅広く、加えて高次脳機能障害や
二次障害を重複しているケースも多
くその障がい特性は多種多様です。

珠藻荘が開所した1980年頃
は、未だ施設の数はなく、ましてや
当時の珠藻荘のように独立したリハ
ビリ室を持つ施設は無いに等しい状況
でした。そんな時代から、理事長はリ
ハビリテーションの重要性を訴えられ、
開所当時から一貫してリハビリテー
ションを重視した施設運営がなされ
てきました。

施設でのリハビリテーションの目的

は、すでに障がいが残ってしまったとい
う状況のなかでその障がいと共に「ど
う自分らしく前向きに生きるか」と
いう障がいを持った状態での生活を前
向きに志向していくことであり、その
ための全ての面の環境整備を、各部署
がそれぞれの専門性を生かし、一人一
人を支えていく場であり、そのために
は各部署が連携しその業務にあたら
なければなりません。その中でも理学
療法士と介護職員（生活支援員）と
の連携は絶対に欠かすことができな
いものです。リハビリ室で可能になっ
た動作（「できるADL」）を日常生活

に取り入れた動作にしていくなか（「し
ているADL」）、そこに日々のリハビリ
の意義があります。日常生活の自立
度を高めていく為には、直接生活を
支援している介護職員の協力が必要
であり、介護職員の対応次第で利用
者様の生活は大きく左右されるので
す。

「できるADL」から「している
ADL」に転換していくために、珠藻
荘では介護職員がリハビリスタッフと
して全ての訓練に携わっています。そ
うして利用者様の現状を把握し日々
の介護に生かしています。



●「しているADL」
居室で車いすからベッドへの移動が
ご自身でできるようになりました



●「できるADL」
リハビリ室の基本動作訓練
を行っている様子

S様は、リハビリ室で平行棒を使い
基本動作訓練（歩行訓練）を行って
います（「できるADL」）。
毎日リハビリ訓練を行うことによ
り実際の生活の場で車いすからベッ
トへの移動が、ご自身でできるよう
になりました（「しているADL」）。

珠藻荘でのリハビリ

珠藻荘では、現在入所利用者38名、通所利用者2名の方々がリハビリ訓練を行っており、1日を通して活気のある部署になっています。



● 関節可動域訓練
各関節の拘縮を予防・改善していく



● 基本動作訓練(立位保持)
立位・歩行訓練の練習を行い、日常生活動作訓練の基礎作りをしていく



● 基本動作訓練(平行棒)



● 起立台訓練
起立性低血圧の改善、立位感覚の再学習
体重負荷による骨粗鬆症の改善目的に行う



● 筋力強化訓練
抵抗に対して行う自動運動で筋力の増強を図る



● エアロバイク
心肺機能の向上、下肢の運動療法として行う

介護職員がリハビリに携わることによりどのような効果があるのか

現在、珠藻荘では9名の介護職員がリハビリのスタッフとして配置をされています。

介護職員がリハビリを担当することにより、介護職員の業務範囲では学べない、人体の構造や筋肉の役割、そして力の流れなどの専門的な知識を知ることが出来ます。また、利用者様個々の障がい特性に合わせた介護技術も学べます。

大きなメリットとしては、利用者様の毎日変化する身体の状態について、リハビリの訓練を通して適切な対応方法を知ることが出来ます。例えば、昨日までバランス良く歩行できていた利用者様が、今日はなぜか上手く歩行できないと言うことがあります。そのような場合でも、リハビリで歩行の現状と

注意点を学んでいることで、介助の幅を適切に変化させ、手を出しすぎない、生活の質を落とさない歩行支援がスムーズに行えます。その他には、個々の利用者様の身体の可動域をリハビリで学ぶことにより、衣類の着脱時など

で自分ができる範囲が適切に分かるようになります。このような知識は、リ

ハビリスタッフだけのものとせず、介護職員全体で情報共有を行います。それにより、リハビリがリハビリ室内だけのものにならず、日常生活の中で常にリハビリを意識した質の高い生活を利用者様に送っていただけるようになると考えています。他のメリットとしては、生活の場で感じた疑問や問題点を理学療法士に相談する場にもリハビリ室がなっており、理学療法士と介護職員間での情報共有、連携がとて取りやすいです。それによって業種間の壁も低くなっているように感じています。

他職種の介護職員がリハビリスタッフを行なうことで、日中活動における人員の減少があることは否めません。しかし前述の技術、情報、知識の共有や、業種間の壁を超えて連携が取りやすくなることを鑑みれば、介護士により大きなメリットを与えてくれていると思います。何より、利用者様の安心と安全に繋がります。介護職員がリハビリスタッフとしての業務に携わるのは重要な役割であると考えます。

FIMとは

FIMは機能的自立度評価法 (Functional Independence Measure) の略で、アメリカで開発されたADL (Activities of Daily Living) 評価法です。ADLは日常生活動作と略され、日常生活を送るために最低限必要な動作で、「起居動作・移乗・移動・食事・更衣・排泄・入浴・整容」動作のことです。

病気やケガでいったん身体機能が低下すると身体機能が回復するまで時間がかかります。また、機能回復は段階的に進むため、その時々適切なリハビリ内容も変化していきます。そのため、利用者様のADLの変化を介護職員と共有できる客観的な評価基準が必要となります。

FIMはいくつかあるADLの評価方法の一つで、人間の動作レベルを細かく評価し適切な治療や訓練につながるように考えられた最も信頼性があり妥当性に優れたADL評価法です。機能回復の程度が分かりやすい

点に特徴があり国内だけでなく世界の医療や介護分野で幅広く用いられています。FIMはどの疾患にも適応が可能です。評価者もリハビリ専門職である必要がなく、実際の生活の中でどのような動作をしているのか、自分で行っている動作・介護負担度を評価して採点していきます。

FIMの評価項目(表1)では幅広く細分化されており、運動項目だけでなく認知項目があるのが特徴です。ADL評価の中に認知項目があるのは認知能力が身体的なADLに影響を与えているため含まれています。

実際に自分で行っている動作・介護負担感をFIMの採点基準(表2)の1点(全介助)～7点(完全自立)で評価し18点～126点のあいだで合計得点を算出します。数値化できるためリハビリの介入前後や経過を追うことができ、治療効果やリハビリの必要性の余地を敏感に察知することができる優れたADL評価法です。

● FIMの評価項目(表1)

大項目	中項目	小項目
1 運動項目	1)セルフケア	①食事
		②整容
		③清拭(入浴)
		④更衣(上半身)
		⑤更衣(下半身)
		⑥トイレ動作
	2)排泄コントロール	⑦排尿管理
		⑧排便管理
	3)移乗	⑨ベッド・椅子・車椅子
		⑩トイレ
		⑪浴槽・シャワー ※1
	4)移動	⑫歩行・車椅子
⑬階段		
2 認知項目	5)コミュニケーション	⑭理解
		⑮表出
	6)社会的認知	⑯社会的交流 ※2
		⑰問題解決
		⑱記憶

※1 P9[事例2]

※2 P9[事例1、事例2]

● FIMの採点基準(表2)

得点	呼称	運動項目	認知項目
7	完全自立	自立	自立
6	修正自立	修正自立 (用具の使用、安全性の配慮、時間がかかる)	軽度の困難、 また補助具の使用
5	監視・介助	監視・準備	90%以上している
4	最小介助	75%以上、 100%未満している	75%以上、 90%未満している
3	中等度介助	50%以上、 75%未満している	50%以上、 75%未満している
2	最大介助	25%以上、 50%未満している	25%以上、 50%未満している
1	全介助	25%未満しかして いない	25%未満しかして いない

「最大介助」などの呼称は程度を勘違いしやすいため、「2点」のように点数を用いることが望ましい

改善がみられた利用者様

【事例1】

M様／社会的交流項目

2点↓5点 改善

前回の評価時は他の利用者様に對する暴言やトラブルが多くみられていましたが、最近は表情が硬くなることはみられるものの暴言を言わなくなりました。そのため、トラブルに發展することがなくなり社会的交流の得点が改善しました。年間を通じて6点から2点と変動がみられており、もとの社会的交流の振りが大きい利用者様です。前回の評価時から担当を中心にきちんとした対応をしたことで、ご本人の理解が進んだものと考えています。リハビリでも訴えをよく聞くことで以前のように機嫌を悪くして途中で帰られることもなく参加されています。今後も、ご本人の状態に配慮して安心できる環境を整えていきます。

【事例2】

T様／社会的交流項目

2点↓3点 改善

①浴槽への移乗項目

4点↓5点 改善

去年の11月に体調を崩されてから拒否を強く訴えることが続いていましたが、徐々に拒否をされる頻度が減つたため2点から3点になりました。また、浴槽への移乗は一般浴に変更になってから最小限度の介助から見守り程度で行え、4点から5点に改善しました。リハビリでは歩行能力に問題はなさそうだったため、ご本人様に歩いてもらえるように介助量、歩行距離を加減しながら訓練を行いました。時間をかけて動作を促していったことが拒否を減らすことにつながったと考えています。今後も、ご本人の反応をみながらリハビリを行っていきたいと考えています。



▲(事例1)M様／穏やかな表情で過ごされることが多くなりました



▲(事例2)T様／落ち着いて歩行器での訓練が出来るようになりました

まとめ

毎日のリハビリの成果を今まで口頭で説明していましたが、今年度より3か月に一度利用者様やご家族へ書面で報告させていただくこととしました。

FIMの採点基準を用いて定期的に評価することにより利用者様やご家族に理解していただくことを継続的に図って参ります。

また、珠藻荘では現在3名の理学療法士が勤務しています。利用者様にとってリハビリは日課となり、また身体的な機能低下の防止はもちろん、精神的な支えや生きがいになっている方もお見えになります。

今後も利用者様がしっかりとリハビリを頑張っていただけのように、取り組んでまいります。



▲FIMの評価を利用者様へ説明している様子

地域防災訓練に参加

～グループホーム白珠～

9月4日、グループホーム白珠のある岩田校区で、地域の防災訓練が行われました。白珠からも職員2名が参加をさせていただき、地域住民の方と一緒に防災に関する様々な訓練を行わせていただきました。

近年、特に豪雨災害等は毎年のように発生し、各地に大きな被害をもたらしています。災害等が発生した場合、地域の皆様のご協力も重要になります。コロナ禍で様々な制限がある中ですが、これからも地域の皆様と交流を図り災害発生時等お互いに協力し合える関係作りを進めてまいります。

(渡邊 憲)



地域ケア会議に参加しました

～特別養護老人ホームカサブランカ～

7月26日、つじが丘地域福祉センターにて豊橋市役所福祉政策課・長寿介護課・防災危機管理課、つじが丘校区民生委員会、介護保険事業者を交え「福祉避難所における介護保険事業者との連携を考える」をテーマに地域ケア会議が開催されました。地域密着型の特別養護老人ホームとしてカサブランカも参加させていただきました。災害時の高齢者支援において課題と感じている部分や、支援方法などの情報共有、また行政が運営する福祉避難所の在り方や課題の抽出、大規模災害を想定としたときに各々が何をすべきで、何が協力できるのかなどの意見交換が行われました。現状として認知症や介助が必要な方が避難所で生活するには高いハードルがあります。地域に暮らす様々な人が、大規模災害が起きたとしてもこの地域で安心して暮らしていける心強い施設になりたいと思います。そのためにも今後密に連携をとりあつていきたいと思っています。

(小久保)

企業様とのコラボレーションの実現

～障害福祉サービス事業所明日香～

明日香利用者の辻勇二様に、名古屋にある印刷会社の竹田印刷様より、絵画を使ったノベルティの作成の依頼がありました。展覧会にて辻様の絵画を見た際、ぜひ、絵画を活用したいとお話をいただき実現となりました。

今回は、10月6日～8日まで愛知県国際展示場で開催されるSDGsエキスポで配布される葉書を入れる封筒の制作とハイデルベルグ社が行う印刷機のデモンストレーションにて作品集を制作することになりました。完成した作品をいただけることので今からとても楽しみです。竹田印刷様は今後も様々な企画を検討しているようで、辻様だけでなく、明日香に限らず、さわらび会の利用者様の絵画も活用していただけるよう、アート活動や作品展への出展にも力を入れてまいります。

(安田)

夏祭り

～福祉村障害福祉サービス事業所しろがね～

8月28日、しろがねで夏祭りを行いました。提灯を飾って盆踊りを踊ったり、水槽におもちゃのアヒルや金魚を浮かべて金魚すくいをしたり、いろいろな種類の水鉄砲を的めがけて撃つたりしました。その中でたくさんシャボン玉が舞ったとき驚いて怖がつている利用者様もいれば、満面の笑みを浮かべている利用者様もいてそれぞれの表情が印象的でした。

(藤井)



優しさ溢れる ボランティア活動

〈障害者支援施設 あかね荘〉

8月9日、高校生ボランティアの訪問がありました。利用者様が楽しく取り組める工夫が凝らされた3つのプレゼントを用意してくださいました。①野菜の生長を楽しみ食卓を彩るラディッシュの種まき②夏祭りに行けなくても荘内で楽しめる金魚すくいキットの作成③季節を感じられる荘内装飾ストローとんぼ作り。そして何よりも気持ちが変わるコロナ禍のビデオレターでつながるなど、たくさんの方の思いやりの心、支え合う心を届けてくださり閉塞感の強まっている日常の中に利用者様が「ほっと」できる時間、楽しめる時間を設けてくださいました。

(田口)



お楽しみ会

〈福祉村保育園〉

8月30日に「お楽しみ会」がありました。開幕は、マジックショーです。ハンカチから花が出たり、食器からカラフルなジャバラが出てきて、子ども達の目は釘付けでした。続いて「魚を釣ってパッキングゲーム」では、お友達を応援する歓声が響きました。次は、アンパンマンやお化けなどの特大パズルをみんなで協力して完成させました。最後に「踊るポンポコリン」を元気に踊り、子ども達の笑顔いっぱい楽しい会となりました。

(鈴木節)



地域の防災に興味がありませんか？

〈福祉村地域包括支援センター〉

8月5日、野依校区の自治会定例会へ参加させていただきました。防災対策として野依校区自主防災会と包括が共同で要配慮者が何世帯あるかの実態把握をしております。その説明とご協力をお願いに伺いました。

8月20日、天伯校区の防災会へ参加させていただきました。10月2日に行われる小学校合同総合防災訓練に向けて打ち合わせを行い、当日には包括支援センターも救急医療情報キットを配布する予定です。

両校区では防災に対する意識が高く、今後も継続して協力体制を構築していきたいと思っております。

(村井)



浴衣祭りを行いました

〈福祉村病院介護医療院〉

8月19日、介護医療院5階にて夏祭りを開催致しました。

男性は甚平、女性は色とりどりの浴衣の中から好きな色の浴衣に袖を通しました。着付けをして鏡に映る姿を見て、少し照れながらにっこりとした笑顔を見せてくださいました。

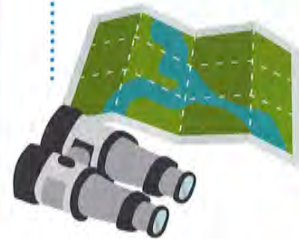
夏の音楽を聞きながら、一緒におやつを食べお祭り気分を味わいました。

(金田)



だれでも旅人

たびびと



「旅」が心身にもたらす効果は様々であり、ストレスの軽減、運動不足の解消、創造性の向上、幸福感を感じると言われています。

車いすでも思いっきりアウトドア

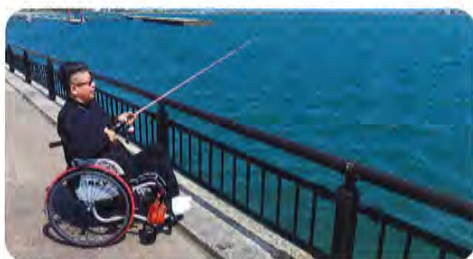
— 珠藻荘 副施設長 田中力 —

今月は車いすでも安全に釣りができる場所を紹介いたします。

私は子供のころから外で遊ぶのが好きで、釣りにもよく出かけていました。しかし車いすでの生活となってしまい、釣りもあきらめていました。ある日、友人が「釣りに行こう」と誘ってくれ、内心、車いすでの釣りは無理だろうと思ったのですが、誘ってくれた友人も車いすなので何とかなると思い行ったのがきっかけです。

車いすでの釣りは、やはり安全面を優先に考えなければなりません。

今回紹介するのは、静岡県湖西市「新居弁天海釣り公園」浜名バイパスから、新居弁天一Cを降りてすぐの信号を右折、新居弁天海水浴場方面に道通りに進むと海釣り公園の入り口



にいけます。駐車場は有料ですが、30分までなら無料です。海釣り公園なので、トイレ、自販機、時期によりちょっとした売店もあり、釣り場のT字堤防では浮き輪、ゴミ箱が完備されています。そして、堤防にはフェンスがあり、舗装もされていて、スロープも設置されているので、車いすでも安全に釣りが楽しめます。

Vol. 174
relay column

さわらび会
のわ

さわらび指定居宅介護支援事業所
主任介護支援専門員

長神 真代



息子が小学
校4年生の時のこ

とです。家庭訪問に
来る担任の先生を待つて

いる時におもむろに「先生の前でたくくんって呼ばないで」と言ったのが息子の親離れの始まりでした。5年生になると「マラソン大会は見に來てもいいけど声を掛けないで」と言われました。中学校の時の運動会は親と一緒に弁当を食べることになっているのに、我が息子は私の手から自分のお弁当だけ受け取ってさっさとどこかに行っていました。

こうして世間一般に男の子に訪れると言われる反抗期を迎えることなく、母の思いと反比例する様に息子の親離れはどんどん加速していききました。

やがて息子は社会人になり、3年目には一人でアパートを決めて家を出て行きました。それからです。時々、休みの日に突然ふらつと來ては、特に何を話す訳でもなく一緒に喫茶店でモーニングを食べ、スパーで買い物してアパートに帰って行くことがあります。私は1ヶ月月に一度やってくる、そんな母息子の時間を心待ちにする様になっていました。

でも、折角訪れた母の楽しみな時間もそろそろ終わりです。息子はどうもお嫁さんをもらうみたいです。今度は母からの子離れ宣言。ちやうと寂しいけど、お嫁さんを大事にするんだよ。

私のプロフィール

福祉村病院 看護師
サルビリア マイケル ダンタリテ
 出身 ● フィリピン パナイ島
 イロイロ州 サンミゲル
 学歴 ● LULO DOCTORS' COLLEGE
 資格 ● 看護師



フィリピンから参りました、サルビリア マイケル ダンタリテと申します。知人に「マイク」とも呼ばれています。マニラから飛行機で行くと1時間かかるイロイロという州に住んでいます。イロイロ州は4つの州が入っているパナイという島に含まれています。それぞれの州は自分の方言を持っています。

パナイ島では農業がメインです。特にお米が栽培されています。他にはサトウキビ、トウモロコシ、バナナ、パパイヤ、ココナツなどもあります。時期の変更によって植えたり生えてきたりする植物もあります。1月にはスイカとメロンなどが植えられています。雨の時期が来たら空芯菜、サトイモ、モロヘイヤなどが生えてきます。

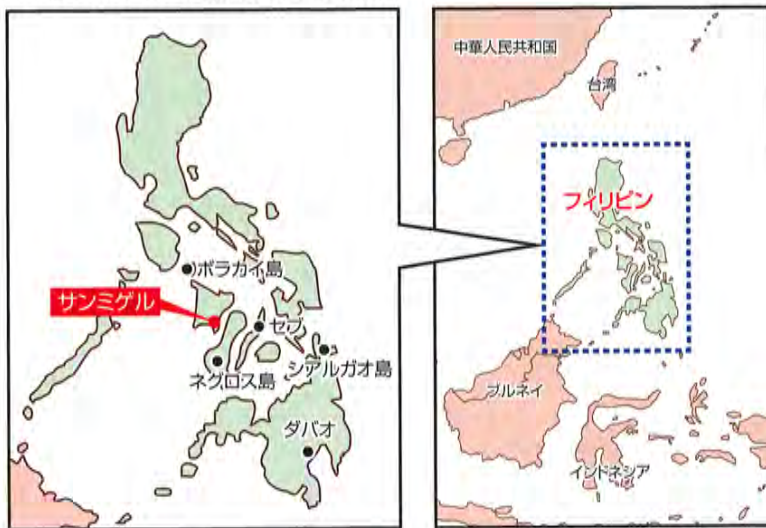
様々な町にはスペイン風の家もまだ建っています。建てる時、レンガを合わせるのに卵白が使われました。現在これらの家は観光客に訪れられています。

私の町はサンミゲルと呼ばれています。イロイロ市から交通の乗り物で行くと大体1時間かかります。海から遠くて山のすそに近いです。フィリピン全体で走っているジープニーという小型の交通の乗り物で住民は仕事に通ったり旅行したりしています。自家用車とバスもあります。町から離れている村ではトライシクルが行ったり来たりしています。トライシクルはバイク本体に乗客が乗っている部分がついている小さな乗り物で大体3〜4人までしか乗れません。

私の町ではヤギの肉が有名です。煮物として料理されています。ヤギを飼うのにお金がかかるのでヤギの肉も高いです。料理する時にフィリピンではココナツ酢又はサトウキビ酢とココナツ油が使われています。収穫する人はまだ咲いていないココナツの花を半分切って脂を採取する容器を数日間付けた後脂を回収します。採取した脂を発酵させることでココナツの酢が出来ます。

町にある物事が恋しいです。もし機会があったら是非フィリピンに行ってみてください。

フィリピン パナイ島周辺の主要都市



ヤギ肉の料理



トライシクル



スペイン風の家

101 回 さわらびキッチン 第101 栄養士のつぶやき 第二さわらび荘 管理栄養士 平田 裕子

ぎんなんは、イチヨウが色づく初秋から公園や街路樹でぎんなんの実が地面に落ちている時期が旬の時期になります。

漢字で書くと銀杏ですが、「イチヨウ」「ぎんなん」と読み方が2通りあり、中国語で「ヤーチャオ」という発音が変わ化したと語源もあります。

イチヨウの木には雄雌があり、実ができるのが雌の木です。

愛知県はぎんなんの出荷量第1位で3割を占めています。種の中の仁(じん)の部分を食用として、でんぷん質を多く含むもちもちとした歯ごたえがあります。

ぎんなんの実はいがきついか、かぶれるのが心配なことから処理をするには面倒に思われますが、熟したものを選ぶと簡単に身の部分と種に分けることができます。水洗いでぬめりを取り乾燥させたら、1カ月ほど保存できます。

滋養強壮に良いとか、身体を温める効果があるとされています。素揚げしたものを、炒ったもの、レンジにかけたもの、食べ方は色々あります。ビタミンB6の吸収を妨げる物質が含まれるため、大人は食べ過ぎなければいいのですが、5歳以下のお子様には早いようです。秋になったら食べたい食材のひとつです。

◆病院シケム

- 8月9日 シケム幹部会
- 10日 豊橋技術科学大学にて学生教職員健康管理、健康相談を斉藤友紀子医師が行った
- 15日 開院記念写真撮影、理事長ゆかり副理事長参加
- 16日 福祉村合同慰霊祭、理事長ゆかり副理事長参加
- 17日 病院幹部会、理事長ゆかり副理事長参加
- 22日 早瀬編集会議
- 23日 介護部主任会議
- 24日 感染対策委員会
- 25日 豊橋技術科学大学にて学生教職員の健康管理、健康相談を斉藤友紀子医師が行った
- 26日 C/P(理事長参加)
- 26日 施設看護師合同会議
- 経営企画会議(理事長ゆかり副理事長参加)

◆さわらび 白珠 常盤

- 8月8日 東部圏域居宅事業所事例検討会準備会(白下部) 社会福祉協議会東部主任ケアマネ職種別会議(白井秀三)が丘地域福祉センター
- 10日 地域包括支援センター研修(松下福井 Web)
- 15日 愛知県居宅介護支援事業者連絡協議会(長神 伴 Web)
- 18日 介護認定審査会(施設長) Web
- 22日 愛知県居宅介護支援事業者連絡協議会(白下部 長神 Web)
- 23日 グループホーム協議会研修(白井秀三、岡崎)
- 24日 サラ相談窓口(白井秀三、エムキャンパス)
- 25日 広域的な地域ケア会議(白井秀三 Web)
- 30日 愛知県グループホーム協議会役員会(施設長) Web
- 9月1日 認定審査会(施設長) Web
- 愛知県社会福祉協議会中野研修(渡邊 白井秀三 Web)
- ケアマネ茶話会(白井秀三、白下部、室野)が丘地域福祉センター
- 生活介護支援サポーター養成講座(松井 森山、石黒) 青陵地区市民館

◆第二さわらび 庄・カサデローザ・カサデヴェルデ・カサフランカ・天伯・フジ

- 8月11日 カサデローザ自治会
- 17日 グループホームフジ誕生会
- カサデヴェルデ夏祭り
- 21日 青陵会グループ100周年記念式典記念講演会
- 22日 愛知県社会福祉協議会人権啓発委員会(都道府県経協セミナー(前期)(場見))
- 23日 愛知県グループホーム連絡協議会三河支部合同研修会(山本施設長) Web
- 24日 日本認知症グループホーム協会三重大会実行委員会 総務運営担当会議(山本施設長) Web
- 24日 日本認知症グループホーム協会三重大会実行委員会 全体会議(山本施設長) Web
- 25日 第二さわらび 庄夏祭り
- 25日 第二さわらび 庄誕生会
- 29日 カサフランカ夏祭り 誕生会
- 30日 愛知県認知症グループホーム連絡協議会役員会(山本施設長) Web
- 9月1日 愛知県社会福祉協議会高齢者部会中野職員研修会(山本施設長) 見行武西村) Web
- 2日 日本認知症グループホーム協会三重大会 財務会計委員会総務運営委員会合同委員会(山本施設長) Web

◆シャトルコース八町

- 8月18日 デイ会議
- 23日 学習療法勉強会

◆珠藻荘

- 8月16日 愛知県相談支援従事者現任研修(鳥居) 名古屋
- 17日 珠藻荘経営会議
- 18日 サイエンスセンターへの買い物物外出(利用者様5名参加)
- 18日 重度障害者のおやつの日
- 24日 サイエンスセンターへの買い物物外出(利用者3名参加)
- 25日 身体拘束適正化委員会
- 29日 自立支援協議会生活支援専門部会(鳥居) Web
- 30日 中部福祉保育医療専門学校介護福祉学科より実習生4名受入(9月23日)
- 31日 大規模災害時の支援体制検討会(鳥居) Web
- 生活向上委員会
- 利用者支援全体会議
- 9月2日 サイエンスセンターへの買い物物外出(利用者様5名参加)
- 9月2日 利用者支援全体会議

◆アリス福祉村

- 8月9日 習字クラブ
- 11日 夏休み親子福祉体験講座
- 16日 習字クラブ
- 17日 夏祭り
- 23日 習字クラブ
- 24日 誕生会
- 9月5日 採用面接(山本ゆかり専務理事)

◆若菜荘

- 8月9日 地域活動日
- 12日 映画鑑賞会
- 15日 映画鑑賞会
- 9月1日 各階別会議

◆あかね荘

- 8月8日 自立支援協議会 障害者週間イベント実行委員会(鈴木巴)
- 9日 アンカーマネジメント基礎研修(原田) Web
- 17日 豊ヶ丘高校ボランティア受入
- 17日 愛知県相談支援従事者現任研修(曾田)
- 18日 自立支援協議会 運営会議(鈴木巴、木村、曾田、佐宗)
- 18日 障害者マスコット委員会(鈴木巴、木村、曾田、佐宗)
- 23日 電帳法への取り組み方解説(光部) Web
- 24日 スマート介護ワークショップ研修(白井) Web
- 24日 自立支援協議会 就労支援専門部会(鈴木巴)
- 24日 訪問管理
- 25日 合同班会議
- 25日 自立支援協議会 生活介護事業所連絡会(鈴木巴)
- 30日 委員会
- 31日 自立支援協議会 大規模災害時の支援体制検討会(曾田) Web
- 嘱託医来診日

◆明日香

- 9月1日 日中活動支援部会(村越) Web
- 耳鼻科検診

◆すみれホーム

- 8月17日 すみれホーム支援会議
- 26日 権利擁護研修(新野)

◆しろがね

- 8月30日 水遊び
- 9日 実務者研修
- 16日 実務者研修
- 23日 実務者研修
- 29日 夏祭り
- 30日 実務者研修
- 9月1日 口腔ケア研修
- 5日 中部福祉保育医療専門学校実習生3名受入(9月9日)

◆すみれ

- 8月30日 おやつ作り
- 10日 風鈴づくり
- 24日 おやつ作り

◆各施設共通

- 8月11日 第19回夏休み親子福祉体験講座 Web
- 12日 在肥医療福祉部会議 Web
- 16日 60周年記念式典実行委員会 Web
- 16日 福祉村合同慰霊祭
- 18日 障害福祉部会議 Web
- 18日 高齢福祉部
- 18日 S.H.P.連携会議 Web
- 18日 生産性向上プロジェクト
- 20日 さわらびグループ60周年記念式典
- 24日 さわらび大学(盆踊り) Web
- 26日 障害者担当者会議 Web
- 29日 さわらびグループ経営企画会議
- 29日 テーマ別研修「気づきの研修」 Web
- 30日 文化祭実行委員会
- 31日 のびのびスクール担当者会議
- 9月2日 生産性向上検討会
- 5日 関係認定審査会(施設長)
- 稼働率向上戦略会議 Web

さわらび会後援会寄附ご芳名

令和4年8月6日～令和4年9月5日

豊橋市東脇三丁目1-17	森田由利子氏	10,000円
豊橋市野依町字西物草12	家具の街ヨコモランド	10,000円
豊橋市小池町36-1	共和印刷(株)	5,000円
豊橋市入舟町21	(株)三恵薬品	10,000円
豊橋市駅前大通一丁目55 サーラタワー	サーラエナジー株式会社	10,000円
新城市南畑74	光田屋(株)	20,000円
豊橋市野依町字山中19-14	福祉村病院職員有志	1,000円
東京都千代田区神田須田町一丁目9番地 相鉄神田須田町ビル201号	(株)福祉会計サービスセンター 代表取締役 宮内 真木子	100,000円
	匿名氏	3,000円
	匿名氏	10,000円
	匿名氏	1,000円

たくさんのご寄付ありがとうございました。
計 **180,000円**
現在までにご寄附いただきました金額は
896,975,696円

●福祉用具紹介のコーナー

「みみもとくん exaII」

テレビの音量を上げなくても、赤外線コードレススピーカーでテレビの音声が耳もとでハッキリ聞こえます。補聴器との併用でさらに聞き取りやすくなります。耳もとスピーカーは充電式で、乾電池の交換は必要ありません。

(あかね荘障害者生活支援センター 曾田)

最近、家庭のテレビの最大音量は約90dBです...

赤外線コードレススピーカー
みみもとくん exaII

耳もとスピーカー
リモコンやメガネの指定場所に収納ケース付
乾電池交換がいらない充電式

CS-37PW

テレビの音量を上げなくても、
テレビの音声が耳もとでハッキリ聞こえます。

販売価格:17,800円(税込)

問い合わせ先 福祉サービス株式会社 ☎(0532)66-1011

第41回 さわらび文化祭 文化祭開催のお知らせ

開催日 ● 令和4年11月3日(木)
午前10時～午後3時

場 所 ● 福祉村(豊橋市野依町字山中19番地)

主な企画

※内容に変更が出る場合がございます。詳細は主催者にお問い合わせください。

- にぎらな寿司
- VR体験
- 野外ステージ
- 福祉村マーケット
- 秋陽展
- フード模擬店
- 遊びの模擬店
- スタンプラリー
- 健康・利用相談
- イント物産展
- EPA候補生による物産展 など

文化祭のお問合せ先

さわらび文化祭実行委員会(軽費老人ホーム 若菜荘内)

0532-48-1138(担当者:新井)

車いすの寄付をいただきました ～福祉村病院～

患者様より車いすをいただきました。ありがとうございました。



お詫びと訂正

9月号 P13 私のふるさと
資格:「介護福祉士」と掲載していましたが、「介護福祉士
候補生」の誤りでした。

百寿おめでとうございます ～軽費老人ホーム 若菜荘～



若菜荘入居者の高橋 富美子様が、9月8日に100歳を迎えられました。

高橋様は2011年9月に、当時ご夫婦で入居され、ご主人は2019年に亡くなりましたが、その後も落ち着いて生活をされており、この9月に100歳を迎えられました。

今年の8月に脳梗塞で福祉村病院に入院されましたが6日で退院され、若菜荘での自立した生活を頑張っているらしいです。

若菜荘では高橋様にこれからも長くお元気に過ごしていただけるよう支援を続けてまいります。

(白石)



長寿番付

●90歳以上の入居者様

- | | | | |
|-----|--------|--------|--------|
| 97歳 | 畑中ハツ子様 | 加藤 つな様 | |
| 96歳 | 竹山 久子様 | 佐々木光枝様 | |
| 94歳 | 宮林 禮子様 | | |
| 92歳 | 鈴木 安子様 | | |
| 91歳 | 杉浦ます子様 | 浅井 和子様 | 浅井かつ江様 |
| 90歳 | 鈴木 幸夫様 | 水谷 隆様 | |

きらび

2022年10月1日発行 早蕨 第594号 毎月1日発行
編集責任者 ●谷さゆり 印刷 ●共和印刷 定価 ●100円

- 福祉村病院 ☎(0532)46-7511
- 福祉村老人保健施設 ジュゲム ☎(0532)46-7501
- 特別養護老人ホーム さわらび荘 ☎(0532)54-3501
法人本部 豊橋市浪ノ上町7-2
- グループホーム 白珠 ☎(0532)66-0082
- 地域密着型サービス事業所 常盤 ☎(0532)62-3370
- 特別養護老人ホーム 第二さわらび荘 ケアハウス カサ デ ローザ ☎(0532)37-1209
- 特別養護老人ホーム カサ ブランカ ☎(0532)69-1701
- 地域密着型サービス事業所 カサ デヴェルデ ☎(0532)23-5552
- 特別養護老人ホーム 天伯 ☎(0532)48-1113
- グループホーム フジ ☎(0532)54-5477
- 軽費老人ホーム 若菜荘 ☎(0532)48-1138

- 障害者支援施設 珠藻荘 ☎(0532)47-1050
- 障害者支援施設 あかね荘 ☎(0532)48-2825
- 障害福祉サービス事業所 明日香 ☎(0532)46-6579
- 福祉村障害福祉サービス事業所 しらかが ☎(0532)48-1032
- あかね荘 障害者生活支援センター ☎(0532)38-9090
- サービス付き高齢者向け住宅 シャトーローズ八町 ☎(0532)52-0005
- 介護付き有料老人ホーム フェリス福祉村 ☎(0532)47-2202
- 障害福祉サービス事業所 すみれ ☎(0532)38-5077
- 共同生活援助事業所 すみれホーム ☎(0532)29-8180



医療法人・社会福祉法人
さわらび会
理事長 山本孝之

台風14号・15号で 被災された皆様へ

心よりお見舞い申し上げます。
一日も早い復興と皆様のご健康をお祈りいたします。

医療法人 さわらび会
社会福祉法人
さわらびグループ

山本孝之
職員一同